

2025年6月10日

名大ワングエル部の皆さんへ 部長挨拶

谷村 省吾

名古屋大学 大学院 情報学研究科 教授

名前：谷村省吾（たにむら・しょうご）

1967年（昭和42年）名古屋市生まれ

1986年 愛知県立千種高校 卒業、

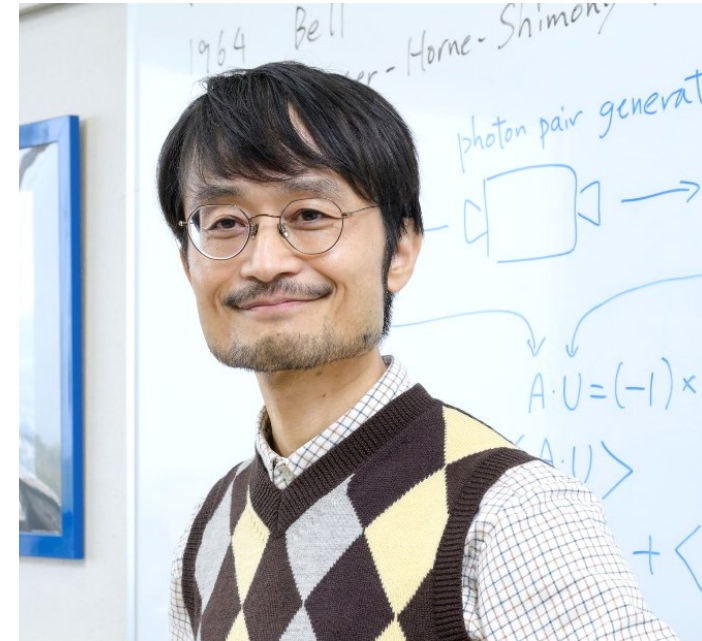
名大 工学部応用物理学科入学、

名大ワングエル入部、トレーニングスタッフ。

1995年 名大 理学研究科 物理学専攻 博士課程修了。

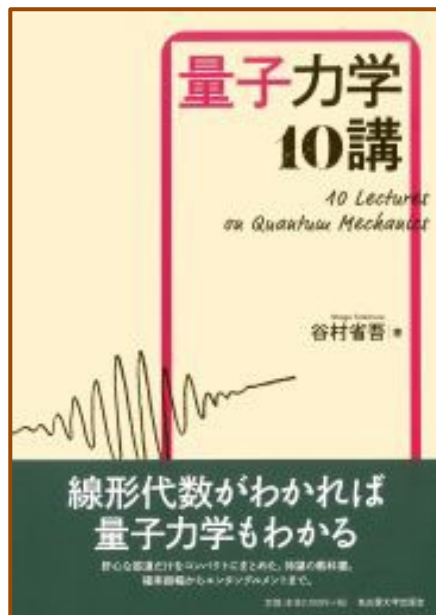
東大で学振ポスドク、京大で助手・講師、大阪市立大学助教授、京大准教授を経て、2011年から名大 情報科学研究科教授。

2024年4月から大井崇生（おおい・たかお）先生のを継いでワングエル部長になりました。今は体力挽回のために週1回は部のトレーニング活動参加を心掛けています。



最近はこういうことをやっています (1/2)

- 量子力学を中心とした数理物理学の研究とAIの研究
- 数学や量子力学の本も書きました。
- 雑誌（数理科学や日経サイエンス）にも、ときどき記事を書いています。



最近はこういうことをやっています (2/2)

- 2022年のノーベル物理学賞の受賞分野は私の専門分野
- 2025年は量子力学100周年、講演や解説記事も



ホーム

話題を検索

通知

メッセージ

ブックマーク

リスト

プロフィール

もっと見る

ツイートする

ツイート



名古屋大学 研究フロントライン
@Frontline758

谷村先生、ただいまアツ〜く解説していただいています



午後7:33 · 2022年10月4日 · Twitter Web App



名古屋大学 研究フロントライン
@Frontline758

昨日のノーベル賞発表は、記者さんたちが集まるホールに杉山総長も駆けつけました。

受賞研究についてレクチャーしてくださった谷村省吾教授@tani6sと総長との豪華解説に、会場は釘付けとなりました。



午後2:18 · 2022年10月5日 · Twitter Web App

現役部員だったのは、どれくらい昔か

- 私がワングルの現役部員として活動したのは1986年から1989年（昭和61年から昭和64年＝平成元年）までです。
- つまり昭和の終わり頃であり、今から39～36年前のことです。
- いろんなことが昔と今とでは違うと思います。

昔はこうだった (1/5)

- 2次鍊から夏合宿までずっと同じパーティメンバー
- 1パーティ5～7人。6～7パーティ
- ザックは帆布製のキスリング
- 鍊成合宿は布製の家型テント
- レンタカーで登山口まで行くという発想はなかった。つねに公共交通機関＋せいぜいタクシー
- 土曜の午前に授業があった
- 鍊成はすべて鈴鹿山脈



1986年の夏合宿、北アルプス薬師岳周辺。前から2番目が谷村

昔はこうだった (2/5)

- 3年生の春合宿までフル活動
- 春合宿は、雪山（八ヶ岳や利尻島）・九州の山・里歩き・南の島・川下り・サイクリング・ネパール・ニュージーランドなどバラエティに富んでいた。



1987年の春合宿、四国高知の四万十川、自作いかだで川下り。右端が谷村

昔はこうだった (3/5)

- 体育会主催の駅伝大会があった。
- 名大祭中の山田杯駅伝
- 豊田高専と合同の須賀杯駅伝
- 名大祭の土曜夜はワングエルが図書館裏グラウンドでファイヤーを組み、スタんツスタツフが工学部3号館屋上でファイヤーダンスを披露していた。



1986年の名大祭、山田杯駅伝大会。当時、ワングエル部主将の竹内有一先輩

昔はこうだった (4/5)

- 調理用火器は「**ホエーブス**」 Phoebus
- オーストリア製
- 灯油のような液体燃料を使う
- 着火前に予熱が必要 (メタノール固形燃料、有毒)
- ホエーブスを置く板を**ブス板**と呼んでいた
- 缶は**ブス缶**



昔はこうだった（5／5）

- ランニング後には豊田講堂前の芝生で腹筋・背筋・腕立て伏せなどやって、最後に（夕日を見ながら）歌を歌っていた。
- スタンツ・スタッフが山の歌を歌唱指導
- 今でも歌集「山鳩」はOB会のウェブページにある。一部の曲はYouTubeにもある。
- 秋の企画（ナイトウォーク、登山タイム競技など）
- 道祖神（ワングエル部の文芸誌、年1回制作・発行）

<https://www.nuwvob.org/>

<https://www.nuwvob.org/yamabato/yamabato.pdf/>

今の方がいいなと思うこと

- レンタカーを積極的に使うのはいいね。
- 活動山域を大台ヶ原や白山や奥秩父に広げるのもいいね。
私は君たちの登山計画書を見るのを楽しみにしています。
- 養成合宿はあいかわらず奥三河なんだね。
- ガス火器や調理簡易食品を使うのもいいね。
- 錬成合宿でもパーティ編成を替えるのはいいね。
- お酒を飲みすぎないのもいいね（昔はビール瓶1本単位で一気飲み、酔いつぶれるのが当たり前だった。お酒の強さで力関係が決まった）

事故は悲しい・大変（1／2）

- 1986年、夏、北海道パーティが落石事故に遭い、サブリーダーが直径1メートルほどの岩と雪渓に脚を挟まれ受傷。道警に助けを求め、ヘリコプター搬出。
- この年、夏合宿中、ホエーブスバーナーの故障でテント炎上、メンバー火傷。
- 1987年、鈴鹿山脈における錬成合宿でサブリーダーがマムシに噛まれた。自力で下山搬出、救急車で搬送され、入院。

事故は悲しい・大変（2／2）

- 1988年、ネパール、ヒマラヤ・トレッキングに挑戦したメンバーが赤痢に罹患。現地入院。
- 川下りゴムボート・パンク、沈没。
- 錬成合宿中、増水した川を渡渉中、ロープで渡していたザックを流された。
- いろいろ危ないことがあったことを思い出します。

君たちに心得てもらいたいこと（1／3）

- ワンゲル部は大学生の課外活動です。
- 義務ではありません。アクティビティであり、楽しみです。
- ワンゲルは大自然の中での活動なので、自然法則以外のルールが通用せず、人間には防げない状況に遭遇することがあります。また、持って行ける道具は限られています。
- 事故があると、楽しくなくなります。
- **ありうる事故を想定し、対策しましょう。**
- **事故に遭ってしまったら、みんなで協力して賢明に対処しましょう。そうせざるをえないときは、助けも求めましょう。**

君たちに心得てもらいたいこと (2/3)

- 山行の回数は意外に少ないです。
- 普通に活動していたら、**3年間の山行回数は10回以上、20回以下**だと思います (トーク後修正、25回前後)
- 1回1回の山行を大切にしてください。
- ボーッとすごして40、50歳を過ぎると、もうあんな山には二度と登れないなあと思います。
- つらいことも全部美化されて「いい思い出」になります。今しかできないことをやってください。

君たちに心得てもらいたいこと（3／3）

- **よく食べる・よく寝る・よく学ぶ・よく動く。健康第一で。**
- **仲間を大切に。** ワンゲルの仲間は一生つきあう友人になります。
- **文武両道で行ってほしい。**
- **学生の本分は学業です。** 私のワンゲル同期 16 人の中で大学の教員や研究者になった人は 7 人。うち 2 人は法学部・文学部卒。
- **頑張った証（あかし）は自信と勇気になります。**
- **OBになったらOB会費を払ってください。現役部員はOB会に助けてもらっています。**

トーク後の追記

- 私（谷村）は2033年3月に名大を定年退職予定です。
- あと8年足らずです。8年は長いと思うかもしれませんが学部4年＋大学院5年＝9年なので、現在の部員が名大教員になるかならないか、ぎりぎりの線です。
- 部長は名大の教員でないといけならしいです。
- **後任の部長候補に目星をつけておいてください。**
- 名大ワングエル部員だった人が部長になってくれるとよいのですが（私の前任者の大井先生はそうでした）、必ずしも元部員である必要はないです。

これから、がんばってね

私の話はおしまい

旅鳥

うるわしき山河
はるかな想いに
ひたかけ渡れ
われら名おいし

輝く雲の果て
こころむすびて
わが故郷
ワンダーフォーゲル

<https://www.youtube.com/watch?v=tbO9VBTIBKM>

(私たちが歌っていたときは、もっと力強く歌っていました。少し音階も違う気がします。)